

日本精化株式会社

2024年3月期（2023年度）

機関投資家・アナリスト向け決算説明会 質疑応答（要旨）

日時：2024年5月14日（火） 13:00-14:00

開催方法：Web会議

当社出席者：代表取締役執行役員社長 矢野浩史

上席執行役員管理本部長 新村明寛

資料：2024年3月期（2023年度）決算説明資料

（2024年5月14日開示）

※この資料は、Web会議での質疑応答の要旨をまとめたものです。

質疑応答（要旨）

【ビューティケア分野】

質問：ビューティケア分野では、グローバルでの拡販が課題だと思うが、海外拠点についてどのように考えられているか教えていただきたい。

回答：現在、現地代理店を起用し、サステナブル対応の製品拡販で実績を挙げている。今後とも日本からの出張をベースに、現地代理店と協力した販売体制を継続したい。現時点では、海外拠点は考えていない。

【ヘルスケア分野】

質問：前期の実績では、第4四半期で特に業績が改善したが、ギリアド・サイエンズ社（以下、「ギリアド」という。）向けプラントの稼働が上がったのか、要因について教えていただきたい。また、当期予想の見通しについても教えていただきたい。

回答：ギリアド向けだけでなく、他の既存顧客向けの医薬品用高純度リン脂質も第4四半期で出荷があり業績が改善した。ギリアド向けプラントの稼働は、前期の上期はテスト生産、下期から商業生産に移行している。当期予想では年間通じて通常生産となることから前期より収益を押し上げる形となる見込みだ。

【ファインケミカル分野】

質問：当期予想では増益となるが、増益要因について教えていただきたい。

回答：引き続き「選択と集中」を進める中で、不採算品の整理、製品の統廃合、値上げによる採算改善が増益に貢献する見通しだ。

**【販売戦略】**

質問：機能性製品の販売全般において、なぜ商社を挟むのか。直販を増やしてはどうか。

回答：当社の会社規模もあり、直販を増やすと営業人材が多く必要となりコストアップにも繋がるので、得意分野のある商社に任せている。ご理解いただきたい。

**【資本政策】**

質問：2023年度の政策保有株式比率24%を2026年度に17%以下にする目標を掲げられているが、2026年度に0%にして欲しい。

回答：2026年度に政策保有株式比率17%以下にすることを目標に、着実に縮減を進めている。持ち合いもあり、相手先のお考えもあるため、当社の考えだけでは進められない、ご理解いただきたい。